**第６０回東北地区高等専門学校体育大会**

**硬式野球競技 競技要項**

１．主　　催　　東北地区高等専門学校体育連盟

２．競技開催校　　福島工業高等専門学校

３．後　　援　　いわき市、いわき市教育委員会、いわき市体育協会、いわき野球連盟

４．大会日程　　令和５年６月３０日（金）～７月２日（日）

５．競技日程　　令和５年７月 １日（土）～７月２日（日）

　　　　　　　　　　※雨天順延の場合　３日（月）・４日（火）

６．大会会場　　いわきグリーンスタジアム（メイン）（いわき市常磐湯本町上浅貝110-33）

いわき市平野球場（サブ）（いわき市平上荒川字島田68）

７．参加資格　　出場選手（女子を含む）は、各県の高等学校野球連盟に加入登録していない

　　　　　　　　者に限る。

８．競技人員　　部長１名、監督１名、マネージャー１名、選手１８名以内、計２１名以内

９．競技規則　（１）２０２３年度公認野球規則による。また、アマチュア野球内規、高校野球特別規則に準ずる。

ただし、下記については、競技規則不適用事項とする。

［ア］投手が同一イニングに投手以外の守備位置に２度以上つくこと。

［イ］変則ダブルヘッダーの場合、投手が登板出来るイニングは両試合を

通じて合計９イニング以内とすること。

 （２）使用球は公認球とする。

10．競技方法　（１）競技はトーナメント戦とし、３位決定戦を行う。

　　　　　　　（２）日没、降雨、雷等が生じた場合の試合の続行は、競技委員、総務委員及

審判員の協議により決定する。

　　　　　　　（３）前項により試合の続行が不可能となった場合は、

　　　　　　　　　［ア］７回未満のときは、ノーゲームとし、再試合を行う。

　　　　　　　　　［イ］コールドゲームは、７回完了若しくは６回半終了とする。

（４）７回完了若しくは６回半終了までに点差が７点以上になった場合は、コー

ルドゲームとする。ただし、決勝戦を除く。

（５）雨天の場合は２日間順延とする。ただし、３位決定戦を行わない。２日間

　　　　　　　　　の順延後、なお競技が終了しない場合は、次のとおりとする。

　　　　　　　　　［ア］２チームが勝ち残っている場合は、

　　　　　　　　　　①両チームを１位とする。

　　　　　　　　　　②全国高専体育大会の出場については、両チームの協議により決定する。

　　　　　　　　　［イ］３チーム以上が勝ち残っている場合は、

　　　　　　　　　　　①競技を中止する。

　　　　　　　　　　　②全国高専体育大会の出場校は、協議により決定する。

　　　　　　　（６）９回終了時に同点の場合、１０回からタイブレークを開始する。延長戦は

　　　　　　　　　１２回までとし、それでも勝敗が決しない場合は、抽選により決定する。た

　　　　　　　　　だし、決勝戦は原則としてタイブレーク制度は適用せず１５回までとし、な

　　　　　　　　　お勝敗が決定しない場合には、両チーム１位とする。全国高専体育大会の出場については、両チームの協議により決定する。

　　　　　　　　　「タイブレーク規定」

　　　　　　　　　①　打順は、９回終了時の打順を引き継ぐものとする。（次回以降も前イニ

　　　　　　　　　　　ング終了時からの継続打順）

　　　　　　　　　②　走者は、無死一、二塁の状態から行うものとする。この場合の２人の走

　　　　　　　　　　　者は、前項の先頭打者の前の打順のものが一塁走者、一塁走者の前の打

　　　　　　　　　　　順のものが二塁走者となる。

　　　　　　　　　③　タイブレークを開始する各イニングの前に、審判委員と両チームは各塁

　　　　　　　　　　　上の走者に誤りがないか十分に確認する。その後、守備側の選手交代お

　　　　　　　　　　　よびポジション変更、攻撃側の代打および代走は認められる。

11．参加申込　（１）申込期限　令和５年６月２日（金）【必着とする】

　　　　　　　（２）申 込 先　〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾30

　　　　　　　　　　　　　　　　福島工業高等専門学校学生課内

　　　　　　　　　　　　　　　 　東北地区高等専門学校体育大会

　硬式野球競技実行委員会事務局

　　　　　　　　　　　　　　　　 　TEL：0246-46-0736 FAX：0246-46-0742

12．組合せ抽選　　各高専の代表者による抽選を行う。

13．代表者会議　（１）日　　時　令和５年６月３０日（金）１５：３０～

（２）会　　場　いわきグリーンスタジアム 会議室

14．開閉会式　（１）開 会 式　令和５年６月３０日（金）１７：００～

いわきグリーンスタジアム

　　　　　　　（２）閉 会 式　競技終了後

15．そ の 他　（１）第２試合以降は、開始予定時刻を繰り上げて実施することがある。

（２）試合に出場するチームは、試合開始予定時刻６０分前に集合し、攻守

決定とメンバー表の交換を主将によって行う。なお、主将の選手はメンバー表の背番号欄に〇を記入し、テーピングやサポーターを使用する選手がチーム内にいる場合は同席し、審判と相手チームの確認を受けること。メンバー表は５通提出すること。

　　　　　　　　　攻守の順序は、主将のジャンケンによって決める。

（３）ベンチサイドは、組み合せ番号の若い方を１塁側とする。

（４）試合前のシートノックは、各７分とする。シートノックにノッカー１名（選

手と同じユニフォームとスパイクを着用し、ノック終了時は直ちにグラウン

ドから退場すること）、練習補助員３名（選手と同じ試合用ユニフォームで

背番号がないもの、トレーニングシューズ、ヘルメットを着用）を加えても

良い。

（５）危険防止のため、打席に入るとき及び走者になったときは、必ず両耳付き

　　　　　　　　　のヘルメットを着用すること。

　　　　　　　（６）捕手が座って投球を受ける場合は、試合中、練習中を問わず必ずマスク、

ヘルメットなどの捕手用具を着用すること。

　　　　　　　（７）手袋について色彩の制限は設けない。リストバンド、レッグガード、エルボーガードについて色は単色とする。

　　　　　　　（８）スパイク表面の色彩は黒色または白色とすること。

　　　　　　　（９）試合中攻守交代は、特に迅速にすること。

　　　　　　　（10）攻撃及び守備のタイムは１試合にそれぞれ３回までとする。延長に入った場合、それ以前の回数に関係なく、１イニングにつき１回までとする。

　　　　　　　（11）監督と選手は審判員のジャッジに対して抗議することはできない。審判員に対するアピールができるのは規則適用上の疑問をただすとき認められるが、主将、伝令または当該選手に限られる。

　　　　　　　（12）バット、ヘルメット、キャッチャーの防具の点検は、審判員が行う。

　　　　　　　（13）選手は必ず１番から２９番までの背番号をつけること。

　　　　　　　（14）球場内のブルペンを使用する場合は、試合をしている該当チームの許可

　　　　　　　　　を得ること。

　　　　　　　（15）ＤＨ制を適用する。

　　　　　　　（16）各球場の「利用の心得」を遵守すること。